

学校だより

令和5年冬休み号

逢坂



人・自然と豊かに関わる子どもの育成
 よく考える子ども
 思いやりのある子ども
 たくましい子ども

児童数 466名



2023年はお世話になりました。

2024年もよろしくお祈いします。



保護者の皆様、地域の皆様には、平素より本校の教育に温かいご支援・ご配慮をいただいていますことに心より御礼申しあげます。

今年は長かった新型コロナによる様々な自粛期間を抜け、音楽会や運動会、宿泊行事等をほぼ例年どおりに開催することができました。子どもたちはさまざまな行事を通してたくましく成長することができたと思います。ご家族が揃って過ごされるお正月に2023年を振り返って伸びたところ、2024年も引き続き頑張るところについて話し合っていたいただき、子どもたちが新たな気持ちで3学期が迎えられるようにご配慮をお願いします。来年も引き続きよろしくお祈いします。

1月行事予定

※行事の変更がある場合は学年通信でお知らせします。

4	木	閉校日 ※12/28-1/4は閉校期間	18	木	身体測定わかば
8	月	成人の日	19	金	食育の日 身体測定1年
9	火	登校指導 始業式 3校時日課 11:35下校	22	月	4,5,6年6校時日課 百人一首週間 給食週間 校内書写展(26日まで)
10	水	避難訓練 口座振替日 3校時日課11:35下校			
11	木	給食開始 身体測定6年 5校時日課	23	火	授業参観
12	金	身体測定5年 5校時日課	24	水	教育相談日
15	月	登校指導 委員会 身体測定4年 教育相談日	29	月	クラブ活動
16	火	ブックママ・パパ 身体測定3年	30	火	5校時日課
17	水	身体測定2年	31	水	エンジョイ活動 5年生出前授業:和の時間



《年賀状について》

担任からの年賀状は送らず、3学期始業日に口頭で子どもたちに新年の挨拶をします。

《3学期の参観日等の予定について》

1月23日(火)2校時(9:30-10:15); 1,2,5年、わかば 3校時(10:35-11:20); 3,4,6年、わかば
 2月16日(金)2校時(9:30-10:15); 1,2,5年、わかば 3校時(10:35-11:20); 3,4年、わかば
 2月20日(火)6年生感謝会(時間等、詳細は後日お知らせします。)

《閉校期間中の緊急連絡先》

12月28日(木)~1月4日(木)は閉校期間とします。緊急連絡先は以下のとおりです。

12月28日(木)、1月4日(木)の9:00~16:30⇒本校(TEL 077-511-9495)

12月29日(金)~1月3日(水)及び上記の時間外⇒市役所(TEL 077-523-1234)

せんそうと平和

逢坂小学校三年生児童作文

ぼくは、一年前からロシアとウクライナのせんそうのニュースを見るがありました。ふつうのひとがじゅうを持っていくすがたがこわくてあまり見ないようになっていました。でも、また、中東のガザとイスラエルのせんそうをニュースで見ました。小さい子どもが血だらけで病いんに運ばれたり、たてものがくずれてめちゃくちゃになっていたりするニュースを見て、おねがドクドクして苦しい感じでかなしくなりました。「ちいちゃんのかげおくり」を習ったので、今の世界でどうしてせんそうがおこっているのか考えようと思いました。

学校や家で、いじめませんげん、けんかをしない、チクチクことばを言わない、人をきずつけない、と教えてもらってとても大事だと思っているのに、どうして国と国どうしがたたかってなかよくできないんだろうとふしぎでたまらないです。調べると、土地の取り合いで自分の国を大きくしようとしていることを知りました。ガザの人は自分の住む国や家がないことも知りました。

ぼくは、毎日、あたり前のように家でごはんを食べて、あたたいふとんでねおわれています。たまに、朝、学校へ行くのがねむたいなあと思うけれど、学校に毎日行けること、勉強できること、友だちと遊べるのが幸せなことですばらしいことなんだとあらためて気がつきました。

ぼくが思う平和は、一人ひとりの命の大切さをわすれず、身近なまわりの人が、えがおですごせるように思いやりをもつことです。世界の平和をねがって生活していきます。

作文を書いたRさんへ

「学校や家で、いじめませんげん、けんかをしない、チクチクことばを言わない、人をきずつけない、と教えてもらってとても大事だと思っているのに、どうして国と国どうしがたたかってなかよくできないんだろう」 ……Rさんの気持ちは、よくわかります。人間はみんな、戦争より平和が、けんかより仲良しが、泣き顔より笑顔がいいって、本当は知っているのだと思います。けれども、地面に線なんてないのに勝手に線を引いて、「こっちは自分の国、あっちはよその国」って決めて戦争を始めてしまう。どうして人は、線を引くのだろうね。

「紙を配ります。紙を半分に折って折り目に線を引きなさい。そして、紙の右半分にはクラスの仲良しの子の名前を、左半分には仲良くない子の名前を書きなさい。」と言われたら？ もしも、の話ですよ。でも、必ず書いてといわれたら、数人の名前を左右どちらにも書いてしまうのではないですか。誰もが「仲良し」と「仲良くない」の間の線を引いている気がします。「みんな仲良し」の学級というのは、みんなと本当の仲良しになることで完成するのだらうと思います。でも、それはきっと、とても難しいことなのでしょう。だったら、自分が引いている「誰かと誰かの間の線」を見せないように生活すること。つまり、「みんな仲良し」というのは、「あなたとは仲良くない」を、伝えないように生きていくことではないかと考えています。

12月には人権週間があります。人権週間は、簡単に言えば、一人ひとりが人として大切にされているかをいつもよりもっと気にして過ごす週間ということになります。これまで校長先生は、人権週間になるといじめに関わる話をしてきました。振り返ってみて気が付いたのは、いつも自分がいじめられた話。本当は、わたしも誰かをいじめてきたらうに。ここに、いじめの難しさがあります。いじめている方は、いじめになっていると気が付かないことがあるのです。だから、その時に教えてあげましょう。「いやだ」「やめて」「それはやりすぎだ」「それはいじめだよ」と。Rさんの言うように、「身近なまわりの人が、笑顔ですごせるように思いやりをもつこと」。そうすれば、世界で起こっている戦争は止められなくても、自分のまわりのいじめは止められます。

Rさんのおかげで、たくさんの事を考えることができました。ありがとう。